

開智創造

令和6年
9月6日（金）

学校教育目標：よく学び 未来を見つめ さわやかにたくましく生きる生徒の育成

R6 第75回大曲仙北 中学校英語暗唱弁論大会

8月30日（金）に行われた標記大会に、本校代表として3年生□□□□さん（暗唱部門）と□□□□さん（弁論部門）が出場しました。

暗唱部門 最優秀賞 □□□□
弁論部門 優良賞 □□□□

□□さんは、1992年にリオデジャネイロで開催された地球環境サミットにおける12歳の少女のスピーチを題材にした内容の英文を暗唱して披露しました。□□さんは、日常生活の中での経験や出来事から考えた自分の意見を「勉強なくていい世界」というタイトルで英文にまとめ、発表しました。二人とも聴衆の心をつかむ素晴らしいパフォーマンスでした。

□□さんは地区代表として9月12日（木）に秋田市で行われる全県大会に参加することになりますが、更にパフォーマンスに磨きをかけて、もてる力を発揮できるよう応援しています。



□□さん「Changing the World」



□□さん「A World Where…」

これ、なあに？

朝、校門で登校指導している時のやりとりです。

生徒-「校長先生、これ何ですか？」

校長-「皆さんが落ちてケガをしないように取り付けてもらったんですよ。」

生徒-「ふ〜ん…」

校門に入るところで自転車を降りる生徒たち。時々混み合うことがあって、自転車を降りる際に側溝に落ちそうになる生徒たちも見られました。そんな事情を知った市が、安全策として早速取り付けてくれたのがこのラバーポールです。ご配慮いただきありがとうございます。

これ



ライオンズクラブより寄贈



秋田仙北ライオンズクラブ様より、「結成50周年を記念し、域内小中学校に子どもたちの学習に必要なものを寄贈したい」という申し出をいただきました。

仙北中学校では、電子黒板を要望させていただき、9月3日（火）に贈呈が行われました。



後ろに写っている電子黒板2台を寄贈していただきました。二階と三階に置いて、授業で有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

栄光

令和6年9月1日

第8回全県中学校招待野球にかほ大会

優勝 仙北中学校

令和6年9月1日

第43回大曲仙北ソフトテニス大会（ルーセント杯）

女子1部 第3位 □□□□・□□□□ペア

※□□□□さんは太田中の□□さんとペアを組み、仙北STCとして参加しました。

令和6年9月1日

第27回日本太鼓ジュニアコンクール秋田県支部予選会 銀賞 仙北太鼓 Jr

※□□□□さんが所属している仙北太鼓 Jr が受賞しました。

令和6年8月31日・9月1日

2024年秋田県卓球選手権大会 兼 全日本卓球選手権大会（カデットの部）秋田県予選会

女子13歳以下シングルス 準優勝 □□□□

女子14歳以下シングルス 優勝 □□□□□

女子ダブルス 優勝 □□・□□ペア

※□□さんは大仙ジュニア所属で出場し、ダブルスでは由利本庄市の小学生とペアを組んでいます。□□さん鈴木さんともに、11月に開催される JOC ジュニアオリンピック2024年全日本卓球選手権大会（カデットの部）及び3月に開催される TOKYO OPEN2025第77回東京卓球選手権大会に出場予定です。

学校祭に向けて

今年度の学校祭について説明する、生徒会企画の集会を行いました。1年生にとっては初めての学校祭であり、また、昨年度までは感染症予防のためステージ発表以外は教室待機だった生徒たちが活動できるような計画が組まれているようです。

新人戦、修学旅行、職場体験学習、宿泊体験学習と並行して準備を進めていくこととなりますが、一人一人が自分の得意分野や強みを発揮し、生き生きと準備活動に取り組む姿や、来校する方々に喜んでもらうため頑張れる北中生の姿が見られることを期待しています。

令和6年度 北中祭テーマ

こう せい

暁星

- ①『明るい』『輝ける』『楽しい』などの思いが多かった
- ②『恒星』の案が挙がった「自ら光を放つ星」のように「一人ひとりが輝ける」学校祭にしたい

北中祭の目標

- ・クラスの人と協力して準備を進められたか
- ・北中祭テーマ『暁星』を意識して取り組めたか
- ・前日祭・北中祭を全力で楽しめたか

令和6年度北中祭内容

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ステージ部門 | 展示部門 |
| ・各学年発表 | ・学習展 |
| ・吹奏楽部演奏 | ・造形展 |
| ・英語暗唱弁論 | ・部活動展 |
| 生徒会企画 | |
| ・モザイクアート・My home town 宣言 | |
| ・服のチカラプロジェクト（子供服の回収） | |

理科計画訪問

9月4日(水)に指導主事訪問があり、2年 B 組の理科の授業を通して職員研修を行いました。6月にもたくさんの先生方に音楽の授業を見ていただいた2B ですが、今回は担任の□□□先生と「化学変化と物質の質量」について学んでいる様子を見ていただきました。

化学変化が起こる前後で物質の質量はどうなるかについて予測を立て、それを検証するために班ごとに実験を行いました。協力し合ってスムーズに準備したり実験を進めたりしており、普段からしっかりと学習に向かっている様子が伺えました。



発生する気体を逃さなければ質量は変わらないと予測する班が大多数。自分たちの予測を、ホワイトボードに図も付けて見える化して発表。

- ・相手の考え方や意見をしっかりと受けとめてやりとりできています。
- ・実験を正確に行おうとする意識が高いなあと感じられる生徒の姿がたくさん見られました。

板書されたもの+αの記述をしている生徒もいて、とてもよい学習モデルだと思いました。

指導者：南教育事務所仙北出張所
□□ □□ 先生

着衣水泳

本当かどうかはさておき、「スキーと水泳は親が教えないとできるようにならないよ」と言われ、冬は大台スキー場に、夏は大森シルバーエリアのプールに子どもたちを連れて行ったのがなつかしいです。

近年多発している想定外の自然災害に、「自分の身を自分で守る」ことができる力の大切さを痛感しています。防災教育の一環として、今年度は2年生と3年生が高梨小学校のプールをお借りして、また1年生は間もなく行われる宿泊体験学習でのカヌー体験の中に組み入れてもらい、着衣水泳授業を行うことになりました。

生徒たちは着衣して泳ぐことの難しさを体感したり、事故に巻き込まれた際の対応を学んだりしました。



着衣していても力を抜くと浮かぶことが出来ることも体感。沈みそうという人は友だちに支えてもらいプカプカ。



濡れそうな人がいても慌てて飛び込まず、まずは何か使えそうなものがないかをチェック。ロープ、ペットボトル、ボールなどをしっかりと届くように投げることが大事。



着衣水泳が初めての生徒たちに、先生たちも水に入って実演するなど、わかりやすく工夫して行いました。